SNIPER

EN Quick Start Guide - All Set in 5 Minutes

FR Guide D'installation Rapide - Prêt à l'emploi en 5 minutes

DE Kurzanleitung - Schnelleinrichtung in 5 Minuten

ES Guia Rápida - Todo listo en 5 minutos

TW 快速入門指南 - 五分鐘快速上手

CN 快速入门指南 - 五分钟快速上手

JP クイックスタートガイド - 5 分で設定完了

Download on the App Store

BrookSniper

GET IT ON Google Play

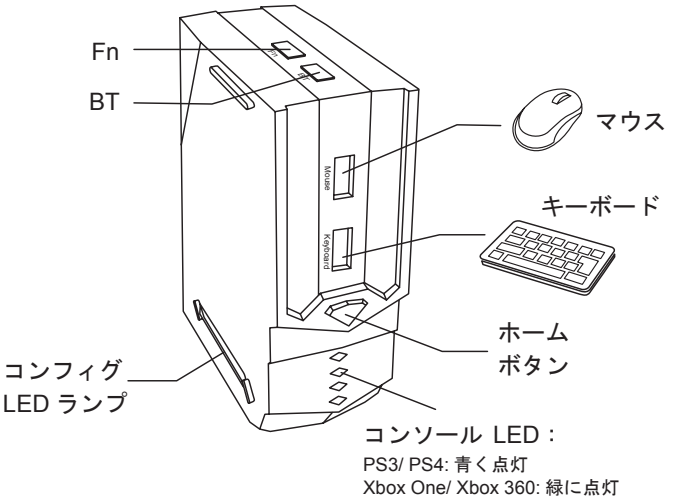
WE BACK YOU UP ™ Brook

SNIPER

– スマホでのセットアップ –

付属品

- Brook Sniper x1
- 説明書 x1
- USB ケーブル x1

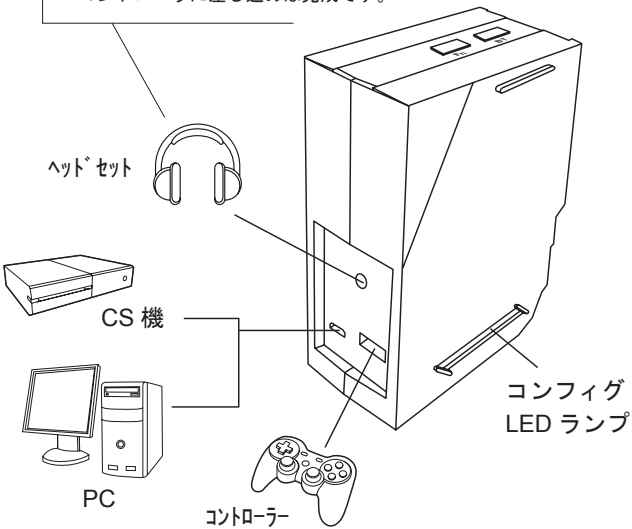


複製禁止

ステップ1　全ての機器を接続

キーボード、マウス、コントローラー（任意）、ヘッドセット（任意）を Brook Sniper に接続します。次に、Sniper 自体をゲーム機に接続します。

1. PS3/ PS4 の機種で音声を再生させる際、ヘッドセットを直接に Sniper 本体に差し込めば完成です。
2. Xbox One の場合ならば、まず Xbox One コントローラが Sniper と接続しから、ヘッドセットを Xbox One コントローラに差し込めば完成です。



⊘複製禁止

ステップ 2　Brook Sniper アプリをダウンロード

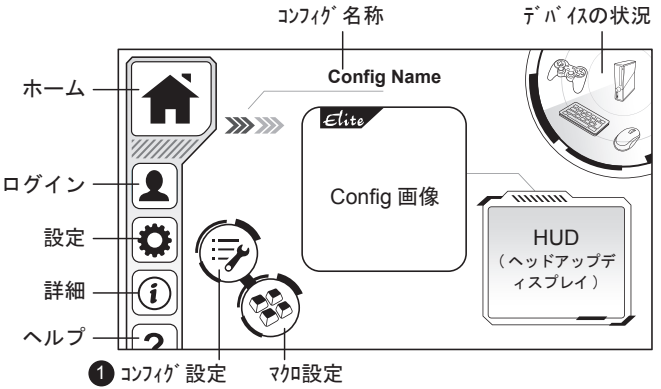
正常に機器が接続されたら、iTunes ストア、もしくは Google Play から Brook Sniper アプリをダウンロードします。

お手持ちの機器の Bluetooth をオンにして、Brook Sniper アプリを起動させます。**また Android の場合ならば、必ず GPS 機能を起動しておいてください。**

アプリのホーム画面で、すべての機器の接続状況が表示されます。正常に設定を完了したら、コンフィグとマクロ設定に進みます。

> Sniper のクラウドサービスをご利用いただくために、お手持ちの Sniper のご登録をお勧めいたします。

▼ホーム画面

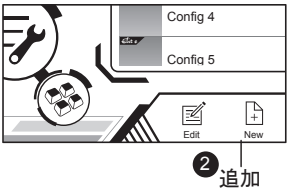


⊘複製禁止

ステップ 3　コンフィグの追加

1. コンフィグ設定アイコンを クリック。

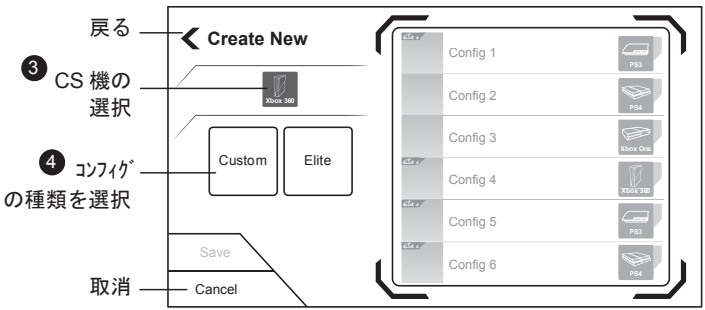
2. “New” をクリックすると特定のゲーム向けの設定であるコンフィグを追加できます。



3. お手持ちの CS 機を選択。

4. “Custom” 又は “Elite” をクリック [1]

[1] エリートのコンフィグは、特定のゲーム向けに最適化されたデッドゾーンならびにマウス速度のカーブを予め設定されています。ご希望のゲームのエリートバージョンのコンフィグがあるかどうかをご確認頂き無い場合には、Custom を選択します。

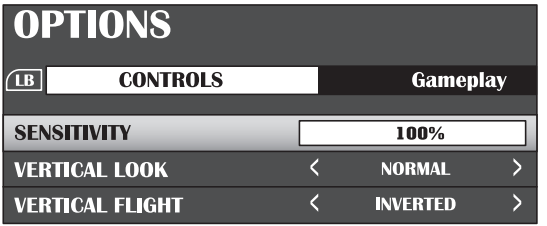


複製禁止

ステップ 4　センシティビティを最大値に設定

マウスから Sniper への信号を最適化するために、 マウスのセンシティビティを最大値に設定します。

ゲーム中の設定の例

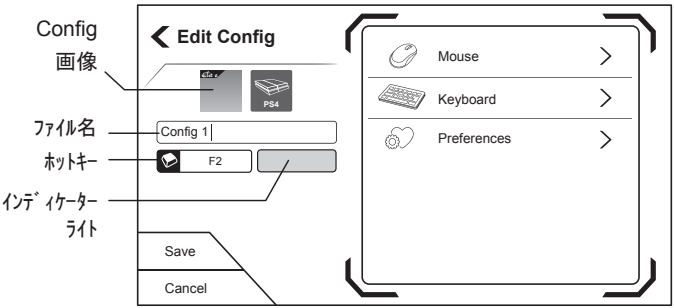


複製禁止

ステップ5　コンフィグの編集

画面の左側から以下を編集できます：
1. Config 画像　2. ファイル名　3. ホットキー
4. インディケーターライト

ﾏｳｽｱｲｺﾝをｸﾘｯｸすると、以下のマウスの機能を編集出来ます：
1. センシティビティ　2. 弾道補正
→ “Save” をクリックし、保存します。



ｷｰﾎﾞｰﾄﾞｱｲｺﾝをｸﾘｯｸすると キーのﾘﾏｯﾋﾟﾝｸﾞが出来ます：

1. 編集するコントローラーのボタンを選択。 G

2. “Listening…” と表示されたら、ﾘﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ Listening... するｷｰﾎﾞｰﾄﾞのｷｰもしくはﾏｳｽのﾎﾞﾀﾝを入力。

3. 全てのｷｰを設定するまで 1-2 の手順を繰り返します。
→ “Save” をクリックし、保存します。

⊘複製禁止

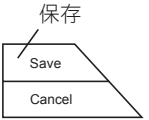
ハートの設定ボタンで 以下の編集が出来ます：

1. 射撃速度

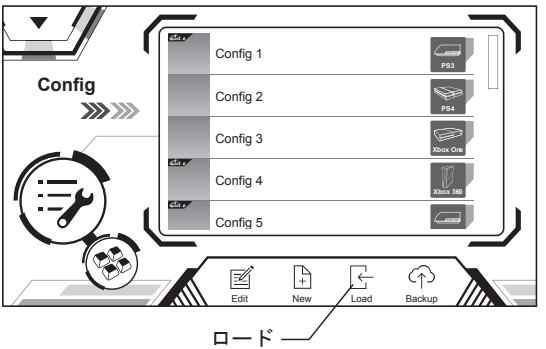
2. Y 軸反転

3. Sniper ブレス*（エリートコンフィグのみ）
   * 射撃時に自動的にﾌﾟﾚｰﾔｰが息を止めるようにする機能

4. リコイルコントロール（エリートコンフィグのみ）



編集完了後 “**Save**” をｸﾘｯｸします。**"Load"**ﾎﾞﾀﾝで Config を Sniper にﾛｰﾄﾞし、ﾒｲﾝﾍﾟｰｼﾞに戻ります。これで全て設定が完了し、ｹﾞｰﾑをﾌﾟﾚｲできる状態になりました！

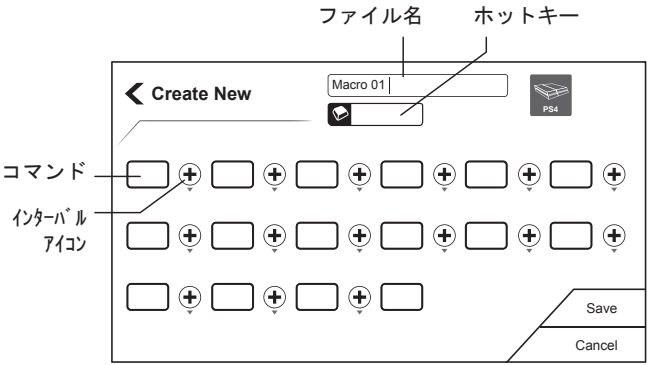


複製禁止

任意設定 － マクロ

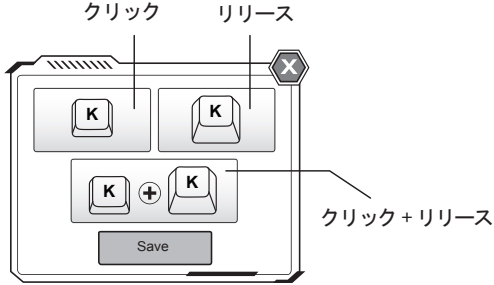
ﾒﾆｭｰ画面のﾏｸﾛ設定ｱｲｺﾝ をｸﾘｯｸし ”New” をｸﾘｯｸし マクロを追加します。プレイする CS 機のみを選択し、以下の手順に従って設定を進めます。

1. ファイル名とホットキーを設定します。



2. コマンドをクリックし、ｷｰﾎﾞｰﾄﾞまたはマウスの何れかのｷｰを押します。“**Click**”, “**Release**” もしくは "Click + Release" の何れかに定義するよう求めるウィンドウが表示されるので、選択後、“**Save**” をｸﾘｯｸします。

⊘複製禁止

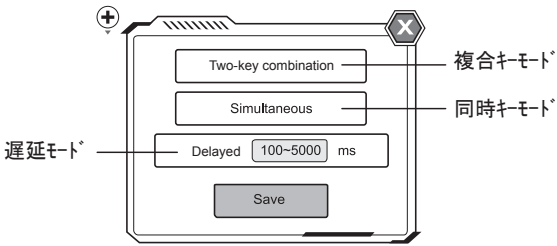


3. ｺﾏﾝﾄﾞ 2 つ ⊕ 毎に左のｱｲｺﾝがあります。ｸﾘｯｸ ⊕ し、ｺﾏﾝﾄﾞｲﾝﾀｰﾊﾞﾙを設定します。ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙには 3 つのモードがあります。

複合ｷｰﾓｰﾄﾞ： 複合キーモード。2 つ連続キーを順番に作動させます。

同時ｷｰﾓｰﾄﾞ： 同時キーモード。2 つのコマンドを同時に作動させます。

遅延ﾓｰﾄﾞ： 遅延モード。2 つのコマンドを一定時間空けて作動させます。



⊘複製禁止

4. このように独自のﾏｸﾛを組むことが可能です！

ご質問がございましたら、info@eternitas.jp（日本語窓口）までご一報ください。

ホームページにアクセスし、無料会員登録いただくと最新のニュースやお知らせが届きます。

（翻訳 MobiLite）

⊘複製禁止

FCC Statement

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and

(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

www.brookaccessory.com